

2019年9月26日

**大塚製薬工場、
細胞懸濁保存液「セルストア®S」、細胞洗浄保存液「セルストア®W」を開発
～再生医療等製品への応用につながる研究用試薬～**

株式会社大塚製薬工場(本社:徳島県鳴門市、代表取締役社長:小笠原信一、以下「大塚製薬工場」)は、研究用試薬である細胞懸濁保存液「セルストア®S」、細胞洗浄保存液「セルストア®W」を開発・製造し、富士フイルム和光純薬株式会社(本社:大阪市中央区、代表取締役社長:白木一夫)より、本日、新発売しました。

セルストアSおよびセルストアWは、冷蔵保存のみならず、これまででない常温保存を可能とする細胞保存液です。冷蔵・常温保存のいずれにおいてもヒト脂肪由来間葉系幹細胞^{※1}の生存率を高く維持できることを確認しており、ヒトおよび動物由来成分を含みません。輸液製品の製造で培った技術を生かし、GMP^{※2}を準用した製造管理・品質管理のもと製造します。なお、セルストアSにおいてはヒト脂肪由来間葉系幹細胞の懸濁状態を一定時間維持できることを確認しています。

現在、凍結保存液はさまざまな製品が上市されていますが、冷蔵用は選択肢が限られており、常温用は市販されておられません。セルストアSおよびセルストアWは、間葉系幹細胞等の基礎研究に貢献するとともに、再生医療等製品^{※3}への応用につながるものと期待しております。

大塚製薬工場は今後も再生医療領域の研究開発を推し進め、革新的な製品を創出することで、医療への貢献を目指してまいります。

大塚グループは、“Otsuka-people creating new products for better health worldwide”の企業理念のもと、世界の人々の健康に寄与してまいります。

※1 治療用細胞として研究されている細胞の一種

※2 医薬品等の製造管理および品質管理に関する基準(GMP: Good Manufacturing Practice)

※3 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(薬機法)」において、人の細胞に培養等の加工を施したものであって、身体の構造・機能の再建・修復・形成や、疾病の治療・予防を目的として使用するもの、または遺伝子治療を目的として、人の細胞に導入して使用するものと定義されています。

製品概要

製品名	セルストア®S	セルストア®W
名称	細胞懸濁保存液	細胞洗浄保存液
分類	研究用試薬(本品はヒト又は動物の医療を目的として使用できません。)	
組成 1 容器(250mL あたり)	デキストラン40 12.5 g トレハロース水和物 8.29 g 塩化カルシウム水和物 0.05 g 塩化カリウム 0.075 g 塩化ナトリウム 1.5 g L-乳酸ナトリウム 0.775 g pH 調節剤 適量 注射用水 適量	トレハロース水和物 8.29 g 塩化カルシウム水和物 0.05 g 塩化カリウム 0.075 g 塩化ナトリウム 1.5 g L-乳酸ナトリウム 0.775 g pH 調節剤 適量 注射用水 適量
包装	250 mL ソフトバッグ	
保存方法	室温保存	
有効期間	3 年	
希望小売価格*	52,500 円/袋(税抜)	
開発・製造元	株式会社大塚製薬工場	
販売元	富士フイルム和光純薬株式会社	

※希望小売価格は参考価格として表示したものです。

会社概要

株式会社大塚製薬工場 (Otsuka Pharmaceutical Factory, Inc.)

設 立 : 1969年10月7日(創立 1921年9月1日)
資 本 金 : 80百万円
代 表 者 : 代表取締役社長 小笠原 信一 (おがさわら しんいち)
本社所在地 : 〒772-8601 徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原 115
従 業 員 数 : 2,266名 (2018年12月31日現在)
事 業 内 容 : 臨床栄養製品を中心とした医薬品、医療機器、機能性食品等の製造、販売
および輸出入
U R L : <https://www.otsukakj.jp/>

富士フイルム和光純薬株式会社 (FUJIFILM Wako Pure Chemical Corporation)

設 立 : 1922年6月
資 本 金 : 2,339百万円
代 表 者 : 代表取締役社長 白木 一夫 (しらき かずお)
本社所在地 : 〒540-8605 大阪府大阪市中央区道修町 3-1-2
事 業 内 容 : 試薬、化成品ならびに臨床検査薬の製造・販売
U R L : <http://ffwk.fujifilm.co.jp/>